

## 一年間の米づくりのしごと

月	4	5	6	7	8	9	10	11
	ひりょう をまく	田おこし	しろかき	田植え	水のかんり	かりとり だっこく	わらあつめ	
	たねまき、苗を育てる		じょそうざいをまく、消どく			かんそう、もみすり		出荷

### 《米づくりのくふう》

むかし米づくりは、ぜんぶ人の手でやっていたのでたいへんでした。いまはきかいでやるので、少ない人数でできます。しかしきかいはねだんが高いのでたいへんです。きかいを共同きょうどうで買ったり、もっている人にたのんだりしています。共同で田植えやいねかりをしているところも多く見られます。

### 農家のお父さんの話

米作りはむかしはときどき凶作きようの年があった。そのため豊作をいのっているいろいろな年中行事があった。

昭和20年代から、良い品種が生まれ、苗代なわしろやさいばいのぎじゅつが進歩し、化学ひりょうや病気や害虫の予防ぼうができるようになって、米はよくとれるようになった。さらにきかい化がすすみ、農家の苦勞くろうも少なくなかった。ところが米が毎年取れるようになったら、日本のみんながごはんを食べなくなったために、田をつくれなくなってきたのは残念ざんねんでならない。